

令和元年度第3回 子ども・子育て会議 会議録

令和2年1月30日(木) 16:00~16:35  
今治市役所 第1別館 10階 101会議室

令和元年度 第3回今治市子ども・子育て会議 会議録（概要）

- 1 日時 令和2年1月30日（木） 16:00～16:35
- 2 会場 今治市役所 第1別館10階 101会議室
- 3 議題 第2期今治市子ども・子育て支援事業計画について
- 4 報告 教育・保育部会について
- 5 出席者 【委員】16名  
泉浩徳委員、青井努委員、砂田ひとみ委員、村上伸幸委員、  
龍田三津子委員、越智瑞啓委員、森敏夫委員、清水正恵委員、  
村上正親委員、織田真吾委員、松尾直紀委員、矢野信子委員、  
松本義秀委員、渡邊美幸委員、桑原祐麻委員、篠原裕子委員  
【オブザーバー】1名  
今治明德短期大学幼児教育学科 相澤みゆき氏  
【事務局】17名  
健康福祉部長、健康推進課長、福祉政策課長、障がい福祉課長、  
保育幼稚園課長、生活支援課長、社会教育課長、子育て支援課長、  
学校教育課指導係指導主事、保育幼稚園課長補佐2名、  
保育幼稚園課給付係長、保育幼稚園課企画係長、  
子育て支援課長補佐、子育て支援課子育て支援係長、  
子育て支援課子育て支援係主査、子育て支援課子育て支援係主事  
【コンサル】1名  
リージョナルデザイン株式会社 安孫子尚正氏
- 6 欠席者 【委員】2名  
豊島禎廣委員  
梶原淳一委員

7 会議内容

会 長	開会 議事録署名委員に桑原委員を指名 次第2の第2期今治市子ども・子育て支援事業計画についての説明を 求める。
事 務 局	資料1の今治市子ども・子育て支援事業計画について、前会議で意見が でた事項について回答をする。


	<p>○第4章2【1-2】放課後子供教室について、設置をより短期間で目標達成できないかということについて、まず対象校区を選定し、それから地域の協力が得られるか、場所の確保ができるかなど、地域の方や学校現場の方の意見も伺いながら検討するので、当初の予定通り5年間の確保とする。</p> <p>資料1の今治市子ども・子育て支援事業計画の変更点について説明をする。</p> <p>○第2章2(2)(3)出生数・死亡数の推移、転入者数・転出者数の推移、婚姻・離婚件数の推移のグラフについて、年度表記から年表記に訂正。</p> <p>○第2章2(7)母子保健事業の状況の乳幼児健康診査の表について、9～10か月児健康診査の欄を追加し、数値も訂正。</p> <p>○第4章1(2)教育保育に関する表で、年度表記を年表記に訂正。</p> <p>○子ども・子育て会議委員名簿を、最新のものに訂正。</p> <p>パブリックコメントについて</p> <p>○意見なし</p> <p>製本までの流れ</p> <p>○2月27日に、会長・副会長による市長答申を行い、市長の挨拶文を入れて完成。3月末を目途に、製本・配布予定。</p> <p>会 長 第2期今治市子ども・子育て支援事業計画について、質問を求める。</p> <p>清 水 委 員 第4章1(2)家庭類型の種類一覧のタイプAひとり親家庭のところは、就労区分はどうなっているか。</p> <p>事 務 局 タイプAは就労区分に関係なくすべてのひとり親家庭です。</p> <p>会 長 今治市独自の施策や計画を何か一つ教えて欲しい。</p> <p>事 務 局 子育てファミリー応援ショップ事業というのがあり、市からお金や補助金は一切出してないので、それぞれ店舗のご厚意によって成り立っている事業である。県は実施しているが、県下では実施しているところは少ない。</p>
--	--

副 会 長	要保護児童対策地域協議会について、参加しているメンバー、開催の割合、開催方法などを教えて欲しい。
事 務 局	要保護児童対策地域協議会は、児童福祉法に基づいて設置しており、今治市では、今治市医師会、警察署、法務局今治支局、保健所、中央児童相談所、民生児童委員協議会、幼稚園協会、教育保育の関係者などで構成している。月に1回開催しており、代表者を年に1回開催している。また、月に1回の協議会でケース検討をしている。
副 会 長	協議会に上がってくる件数はどのくらいあるのか。
事 務 局	通報は年間で約150～170件であり、その中で虐待と認定されるのが約50～60件である。それを継続で持っているのが、70～80件の家庭と関わり続けなければならない。
会 長	虐待をする家庭はどのような家庭が多いのか。
事 務 局	貧困や精神的に不安定な方が多い。また、虐待を受けた子どもが親になって虐待をするケースや、母子家庭に新たに男の人ができて、その男の人が虐待をするケースも少なくない。
会 長	砂田委員に意見を求める
砂 田 委 員	核家族化やマンションがあつたりと、孤立化してしまう家族が多い。赤ちゃん訪問をしているが、関わるのが1回きりになってしまうので、様々な子育ての事業やサークルなどで、継続的な見守りが必要である。連携のシステムなど、いろんなところで手を組んで情報交換したい。また、学校関係のところでは、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、ハートなんでも相談員について、配置の割り振り等を教えて欲しい。
事 務 局	スクールカウンセラーは市内の中学校を中心に配置している。スクールカウンセラーが配置されていない学校はハートなんでも相談員を配置し、市内の40校全てにハートなんでも相談員かスクールカウンセラーを配置している。スクールソーシャルワーカーは、市内に5名ほどおり、

		<p>小中学校兼務であったり、複数の中学校を回ったり、適応指導教室コスモスの家にも配置している。</p>
会	長	他に意見がないので、今後軽微な変更があった場合は事務局に一任し、本件については承認をしていただけるか。
全	委 員	承認
会	長	次第3教育・保育部会について報告を求める。
事	務 局	<p>資料2について説明</p> <p>○就学前児童数の減少や幼児教育・保育の無償化により特に影響を受ける幼保連携型認定こども園5園について定員を見直し、より現状に近いものとする。</p> <p>○みどり幼稚園が来年度より幼保連携認定こども園に移行し、それに伴い清水保育所は今年度末をもって閉所予定。</p> <p>○現在認可外保育施設であるなでしこ保育所が、来年度より市の認可を受けた事業所内保育所に移行予定。</p>
会	長	各委員に質問・意見等求める。
		今後幼稚園は、幼保連携型認定こども園に移行していく傾向か。
事	務 局	傾向としては、幼保連携型認定こども園に、将来、公立保育所が再編・統合した場合にそのように募集するのが、現在の再編計画の中での方針であるが、実際は少子化で今治市も子どもの数が非常に減っている状況なので、今後の保育所のあり方を長いスパンで検討する必要がある。
会	長	近年、企業主導型保育所や無認可保育所が増えているが、今治市も現在そのような状況になりつつあるのか。
事	務 局	現在、企業主導型保育所が市内に1園、認可外保育施設が6園あるが、新たに開園するといった具体的な話は今のところ聞いていない。
会	長	その他質問・意見等を求める

全 委 員	質問・意見等なし
会 長	閉会

会議の経過を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

会 長 泉 浩徳 

署名委員 桑原 祐麻 